

## 第 68 回日本救急医学会関東地方会幹事会

2018 年 1 月 27 日 (土) 12:30~13:20

会場：東京大学本郷キャンパス 第 2 会場 (医学部教育研究棟 14 階 鉄門記念講堂)

議事録署名人の確認

三宅常任幹事長

新幹事推薦 (資料①)

物故会員黙禱

### 報告事項

1. 庶務報告 (資料②) 河野常任幹事
2. 各常任幹事担当報告
  - ①看護部会 (資料③) 佐藤常任幹事
  - ②救急隊員部会・関東地方 MC 検討委員会 (資料④) 松田常任幹事
  - ③SOS-KANTO 委員会・多施設研究検討委員会 (資料⑤) 武田常任幹事
  - ④関東地方災害医療検討委員会 (資料⑥) 河野常任幹事
  - ⑤編集委員会 (資料⑦) 田中常任幹事
  - ⑥ホームページ (資料⑧) 田中常任幹事
3. 第 68 回日本救急医学会関東地方会報告 森村会長
4. 第 69 回日本救急医学会関東地方会  
準備状況報告 (資料⑨) 河野次期会長

### 審議事項

1. 2017 年度決算報告 (資料⑩) 河野常任幹事
2. 会則の変更について (資料⑪) 三宅常任幹事長
3. 2018 年度予算について (資料⑫) 河野常任幹事
4. 名誉会員の推戴について (資料⑬) 三宅常任幹事長
5. 次々期会長について 三宅常任幹事長
6. 学会名の英表記について (資料⑭) 三宅常任幹事長
7. その他

新幹事候補者リスト					
	新幹事候補者名	所属	出身大学	卒業年	資格
1	やまもと りょう 山元 良	慶應義塾大学医学部救急医学	慶應義塾大学	平成18年	有
推薦者：佐々木淳一(慶應義塾大学医学部救急医学)、栗原智宏(慶應義塾大学医学部救急医学) 入会日：平成21年2月7日					
2	ほんま ようすけ 本間 洋輔	東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科	佐賀大学医学部	平成19年	有
推薦者：松越拓(東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科)、藤谷茂樹(聖マリアンナ医科大学 救急医学講座) 入会日：平成24年6月1日					
3	くぼた すくる 久保田 英	東京女子医科大学病院 救命救急センター	信州大学大学院医学研究科	平成16年	有
推薦者：武田奈和(東京女子医科大学救急医学)、矢口有乃(東京女子医科大学救急医学) 入会日：平成24年8月8日					
4	あらい まさとく 新井 正徳	日本医科大学付属病院 高度救命救急センター	長崎大学医学部	平成3年	有
推薦者：※再認定申請につき省略(平成18年度まで関東地方会幹事、以降東北地方会所属) 入会日：平成15年～18年の会員歴あり(退会時幹事)、平成29年12月25日再入会					
5	ほんだ ゆみえ 本多 ゆみえ	東海大学医学部 救命救急医学	東海大学医学部	平成1年	有
推薦者：猪口貞樹(救命救急医学)、中川懺英(東海大学救命救急医学) 入会日：平成24年1月25日					
6	たむら ともよし 多村 知剛	慶應義塾大学病院救急科	慶應義塾大学	平成19年	有
推薦者：佐々木淳一(慶應義塾大学医学部救急医学)、栗原智宏(慶應義塾大学医学部救急医学) 入会日：平成26年2月1日					
7	おおや よしたか 大谷 義孝	埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科	岩手医科大学医学部	平成13年	有
推薦者：根本学(埼玉医科大学国際医療センター)、高平修二(埼玉医科大学国際医療センター) 入会日：平成25年2月16日					
8	ふるまや ともみ 古厩 智美	さいたま赤十字病院 救命救急センター ICU	東京医科歯科大学大学院 保険衛生学研究科 博士前期課程	平成21年	有
推薦者：浅香えみ子(獨協医科大学埼玉医療センター)、石井恵利佳(日本看護協会看護研修学校) 入会日：平成24年6月1日					
9	なかむら みつお 中村 光伸	前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科 救急科	群馬大学大学院 医学系研究科	平成20年	有
推薦者：中野実(前橋赤十字病院)、宮崎大(前橋赤十字病院) 入会日：平成26年1月20日					
10	あらい あきこ 新井 晶子	筑波メディカルセンター病院 救急診療科	筑波大学医学専門学群	平成14年	有
推薦者：大橋教良(帝京平成大学)、河野元嗣(筑波メディカルセンター病院) 入会日：平成18年2月2日					
11	しもざわ のぶひこ 下澤 信彦	聖マリアンナ医科大学救急医学	信州大学医学部	平成3年	有
推薦者：平森彦(聖マリアンナ医科大学救急医学)、藤谷茂樹(聖マリアンナ医科大学救急医学) 入会日：平成23年7月25日					

## 2017 年度 庶務報告

(2017 年 12 月 31 日現在)

総会員数 :	1125 名	(新会員 129 名)
幹事	322 名	(新幹事* <sup>1</sup> 33 名)
名誉	41 名	(新名誉会員 2 名)
一般 (医師)	572 名	(新会員 90 名)
一般 (看護師)	163 名	(新会員 35 名)
一般 (救急救命士)	11 名	(新会員 3 名)
一般 (その他・不明)	16 名	(新会員 1 名)

\*<sup>1</sup>2017 年 2 月幹事会承認

退会者数 : 177 名 (うち 161 名は会費滞納による自然退会)

名誉	1 名
幹事	16 名
一般 (医師)	93 名
一般 (看護師)	60 名
一般 (救急救命士)	4 名
一般 (薬剤師)	1 名
一般 (ME)	2 名

会員のご逝去 1 名 (退会者数に含む)

中田 義隆 先生 (なかた よしたか) 2017 年 2 月 19 日ご逝去(名誉)

## 看護部会報告

平成30年1月27日  
看護部会担当常任幹事  
佐藤 憲明

### 1. 2016 年会議開催報告

#### ①看護部会運営委員会 2回開催

第1回看護部会運営委員会：2月4日（土）栃木県総合文化センター

第2回看護部会運営委員会：6月24日（土）TKP 東京駅八重洲かフェリスセンター

#### ②看護部会施設代表者会 1回開催

2月4日（土）栃木県総合文化センター

### 2. 看護部会の活性化について

以上

平成 29 年 12 月 20 日

全国消防長会関東支部  
消防機関 各位

日本救急医学会関東地方会  
常任幹事長 三宅康史  
担当常任幹事 松田潔



関東地方メディカルコントロール協議会連絡会のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

下記のように、第4回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会を開催する運びとなりました。今回のテーマは、「病院前救護プロトコルの工夫」です。関東地方内で病院前救護プロトコルを工夫して病院前救護の充実に努めている地域の情報を共有することは、メディカルコントロールを推進していく上で意義深いものと考えております。

つきましては、第4回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会に、貴消防機関職員の皆様にもご出席いただき、意見交換にご参加いただければと考えております。職員の皆様に、ご通知いただければ幸いです。

なにとぞご協力をお願い申し上げます。なお、参加者への交通費等の提供は予定しておりません。

敬具

記

第4回関東地方メディカルコントロール協議会連絡会

日 時：平成 30 年 1 月 27 日（土）16:05～17:00

会 場：東京大学本郷キャンパス 医学部教育研究棟第6セミナー室  
東京都文京区本郷 7-3-1

主催者：日本救急医学会関東地方会

テーマ：病院前救護プロトコルの工夫

司 会：日本救急医学会関東地方会常任幹事 松田潔

演 者：医療法人美加未会理事 亀山大介

土浦協同病院救命救急センター救急科 荒木祐一

防衛医科大学校病院救急部 関根康雅

日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 益子一樹

横須賀市立うわまち病院救命救急センター 本多英喜

# 第4回関東地方メディカル コントロール協議会連絡会 本日16:05～17:00 第5会場 医学部教育研究棟第6セミナー室

## 関東地方における病院前救護 プロトコルの工夫

司会 日本救急医学会関東地方会常任幹事 松田潔

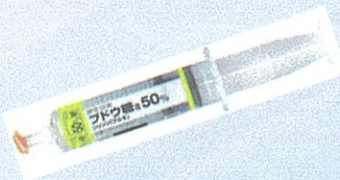
コメンテーター 厚生労働省医政局病院前医療対策専門官 飯塚悠祐  
// 総務省消防庁救急企画室救急専門官 森川博司

発表者 土浦協同病院救急集中治療科 荒木祐一  
// 防衛医科大学校病院救急部 関根康雅  
// 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター 益子一樹  
// 横須賀市立うわまち病院救命救急センター 本多英喜  
// 医療法人美加未会理事 亀山大介

事前登録  
不要

参加自由

どなたでも参加し発言できます



ご自分の所属するMC協議会の救急隊活動プロトコルを進化させませんか？

平成29年12月20日

日本救急医学会関東地方会  
常任幹事長 三宅康史 様  
第68回日本救急医学会関東地方会  
会長 森村尚登 様

一般社団法人 日本臨床救急医学会  
PEMEC 検討小委員会 委員長  
第68回日本救急医学会関東地方会  
PEMEC 東京コース CMD  
溝端 康光

謹啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本臨床救急医学会では、疾病救急傷病者に対する救急隊員の病院前救護活動の質の向上を図るべく、これまでに PSLS(Prehospital Stroke Life Support)と PCEC(Prehospital Coma Evaluation and Care)のガイドブックを発刊し、コース開催をすすめてまいりました。これらは脳卒中の救急傷病者を対象としておりましたが、この度、胸痛や腹痛等も含めた疾病救急傷病者全体を対象とする標準化病院前救護活動を PEMEC(Prehospital Emergency Medical Evaluation and Care)として策定し、平成29年1月に「PEMEC ガイドブック2017」を発刊いたしました。さらに、「PEMEC コース」を開発し、本年5月第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会のプレコンgresコースとして第1回コースを開催したところです。

今回、第68回日本救急医学会関東地方会において下記の通り PEMEC コースを開催するにあたり、ご協力をたまわり感謝申し上げます。つきましては、関東地方の救急隊員の方々のご参加について、ご検討を呼び掛けてくださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

「第68回日本救急医学会関東地方会 PEMEC 東京コース」

1. 日時：平成30年1月27日（土曜日）9：30～17：00（9：00受付開始）
2. 会場：東京大学医学部総合中央館3階 大集会室
3. 受講費：5,000円
4. 申し込み方法：コース運営担当の岡田知己（sfd\_ems11@yahoo.co.jp）まで参加希望者の氏名、所属、連絡先（メールアドレス）をメールしてください。件名に「PEMEC 東京コース受講希望」と記載をお願いいたします。

平成29年12月20日

全国消防長会関東支部  
各消防機関消防長 様

日本救急医学会関東地方会  
常任幹事長 三宅康史  
第68回日本救急医学会関東地方会  
会長 森村尚登



### PEMEC コース開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本臨床救急医学会から、第68回日本救急医学会関東地方会学術集会のうちに疾病救急傷病者を対象とする標準化病院前救護教育プログラムであるPEMEC(Prehospital Emergency Medical Evaluation and Care)コースの開催を依頼され、平成30年1月27日(土曜日)に東京大学医学部総合中央館3階大集会室にて同コースを開催する運びとなりました。さらに、同コースのCMDをつとめられる日本臨床救急医学会PEMEC検討小委員会委員長 溝端康光先生から、受講生募集について案内、広報の協力依頼をいただきました。

PEMEC受講は、関東地方の救急隊員にとって資質向上に役立つと思われ、各消防機関における救急隊員教育にも参考になる教育コースと思われ、日本救急医学会関東地方会としてもPEMECコースの関東地方における普及について協力してまいりたいと考えております。

つきましては、貴消防機関所属の救急隊員に別添の案内文書をご回覧いただき、PEMECコース開催についてご理解と参加希望を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具



# Road Map of SOS-KANTO 2017 Study

Guideline 2015  
Knowledge Gaps

Guideline 2020  
New Evidence

総括報告  
関東地方会

関東地方会  
統計方法の講義

臨床救急医学会

関東地方会  
中間報告

関東地方会  
解析報告

参加施設募集  
2017年10月  
PICO一次募集  
2017年10月  
～  
2018年1月

参加施設  
PICO  
二次募集  
2018年2月  
～  
2018年2月  
末日

スタートミーティング

症例集積  
エントリ  
開始  
2018年7月～  
2019年6月

論文文化

学会発表

SOS-KANTO study  
倫理委員会  
関係書類の配布

Data収集法検討

PICOの分類、担当班の決定

Study項目  
の決定

進行状況  
確認

Data配布

委員会2 委員会3 委員会3

委員会4

小委員会5 小委員会6

小委員会7

小委員会8

2017年 常任  
幹事会

2018年  
全体会議

2019年

2020年

2022年  
全体会議

2月 8月 9月 10月

1月

3月

4月 6月

2月

10月

2月

10月

2月

1. Q: 国外に所属施設がある医師が SOS-KANTO 2017 study に参加し、研究を発表、論文化できるのでしょうか？

A: 国外に所属施設がある医師も日本救急医学会関東地方会会員であることが必要。また、共同研究者も日本救急医学会関東地方会会員であり、かつその所属施設から data の入力があることが必要。

つまり、国外に所属施設がある医師は単独で研究を発表、論文化することはできない。

2. Q: 論文化にあたっての authorship はどのようなになるか

A: 1. 筆者は日本救急医学会関東地方会の会員である事とする。

2. 筆者の最後に on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Group を付ける。

3. 会員以外の必要な筆者は Contributor や Collaborator として論文の最後に載せる。

4. SOS-KANTO としての責任を果たすために、必ず、最終責任者である SOS-KANTO 委員長を入れる

5. Gift authorship や multiple authorship をさける

6. 新規 PICO 申請もしくは、研究計画書提出の段階で、その論文に関わる基本的な著者メンバーを決めておき、内容と著者もあわせて、前もって委員会で審議をする。

7. Contributor や Collaborator 以外に SOS-KANTO 2012 study group の名前のリストを規定通り載せる。ただし、雑誌によっては、掲載ができないものもあり、その場合は省略し、学会の URL のみ掲載。

例: 執筆者, 発案者, 研究デザイン, 統計解析, 草案作成, 最終責任者 (SOS-KANTO 委員長), 担当常任幹事, 常任幹事長 and on behalf of the SOS-KANTO 2017 Study Group

詳細は ICMJE ガイドラインを参照のこと

<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html>

3. Q: 同様の研究が提出された場合はどうなりますか？  
A: 担当各班で調整のうえ、委員会で決定する
4. Q: PICO の提出は 1 施設 1 つに限定でしょうか？  
A: 余力があれば、PICO の提出は 1 施設 1 つに限定しない。
5. Q: 参加希望の施設の実務担当者の流れを再度、教えてください。  
A: 参加申し込み→PICO の提出→SOS-KANTO2017 委員会で PICO 承認→  
(参加希望施設からの PICO の提出終了：締め切り→委員会にて入力項目の  
決定→各施設に倫理委員会への提出書類の雛型の配布)→各施設の倫理  
委員会への書類提出・審議→院内の倫理委員会での承認→院内の症例登録  
→PICO テーマの解析・発表・論文化

申請日	解析テーマ名	申請者	所属施設
2017/11/26	心肺停止における体温管理療法施行前の予後予測スコア、CASTのvalidation study	錦見 満暁	前橋赤十字病院
2017/12/1	人工蘇生システム(自動胸部圧迫)の有用性について	神田 潤	帝京大学医学部附属病院
2017/12/13	Bystander CPRの効果における心電図波形と性別が与える交互作用(effect modification)に関する検討	篠崎 広一郎	フラインスタイン研究所, 米国
2017/12/13	心停止の実情とその転帰に関する日本と米国との比較検討	篠崎 広一郎	フラインスタイン研究所, 米国
2017/12/13	脳低温療法における目標温度達成の遅延に関わる因子の検討	篠崎 広一郎	フラインスタイン研究所, 米国
2017/12/22	外傷性心停止の実情とその転帰に関する日本と米国との比較検討	篠崎 広一郎	フラインスタイン研究所, 米国
2018/1/9	アビシオリンの投与限界時間の検討	本間 洋輔	東京ベイ浦安市川医療センター
2018/1/9	心肺蘇生の機能予後におけるエビデンス投与の意味についての検討	本間 洋輔	東京ベイ浦安市川医療センター
2018/1/9	心肺蘇生の自己心拍再開におけるエビデンス投与の意味についての検討	本間 洋輔	東京ベイ浦安市川医療センター
2018/1/10	凝固異常・酸塩基平衡が心停止患者の予後を予測するか	萩原 周一	群馬大学 救命救急センター
2018/1/13	SOS-KANTO 2012 TORJLのValidation Study	明石 曉子	東京都立墨東病院

## SOS-KANTO 2017 study 参加申込書

返送先 E-mail : qq\_kanto@herusu-shuppan.co.jp

FAX: 03-3380-8627

参加

不参加

施設名	(	)
部署	(	)
施設責任者	(	)
実務担当者	(	)
メールアドレス	(	)

JAAM-OHCA レジストリへの参加について該当する項目にチェックをお願いいたします。

- すでに参加している
- まだ、参加していない
- 参加しない

## 「第2回 関東災害医療連絡会議」開催のご案内

日本救急医学会関東地方会常任幹事（関東災害連絡会議担当）

河野 元嗣

### 第2回 関東災害医療連絡会議

#### 開催目的

首都直下型地震や東京オリンピックに備えて、多数傷病者対策が必要です。各県で災害医療コーディネーターが設置されていますが、県境を越えた連携が必要となった場合に備え、情報共有の場を設けたいと考え、昨年に引き続き第2回会議開催のはこびとなりました。

#### 開催日時

2018年1月27日(土)15時10分～16時05分  
(第68回日本救急医学会関東地方会併設)

#### 開催場所

東京大学医学部教育研究棟13階第6セミナー室  
(第68回日本救急医学会関東地方会 第5会場)

#### 開催対象

会議は公開で開催します。参加者に制限はありません。興味のある方多数のご参加をお待ちしております。

#### 議事内容

「局地災害に対する急性期災害医療を近隣県はどのようにコーディネートしたか」  
司会進行 常任幹事（関東災害連絡会議担当）河野元嗣

#### コメンテーター

1. 日本医科大学武蔵小杉病院 菊池広子 先生
2. 川崎市立川崎病院 大城健一 先生
3. 東京女子医科大学東医療センター 庄古知久 先生

その後、意見交換の予定です。

## 『日本救急医学会関東地方会雑誌』第38巻2号 制作報告

2018年1月27日  
編集担当 常任幹事 田中 裕

### 1) 論文投稿数

全投稿数：66編〔医師部会：56編，看護部会：6編，救急隊員学術研究会：4編〕  
(うち3編は昨年以前の発表，5編は本会で発表なし)

	論文数	備考
2017年 学会全発表数	224件 〔医師部会：168件，看護部会：23件， 救急隊員学術研究会：33件〕	投稿率：25.8%
辞退・未着	166編	
2017年 発表論文投稿数	58編 〔医師部会：49編，看護部会：5編， 救急隊員学術研究会：4編〕	

【参考：投稿率の推移について】

	2011年 32巻	2012年 33巻	2013年 34巻	2014年 35巻	2015年 36巻	2016年 37巻	2017年 38巻
学会発表数	213	280	287	254	251	295	224
辞退・未着	132	182	195	162	176	208	166
投稿数	81	93	91	68	75	87	58
投稿率	<b>38.0%</b>	<b>33.2%</b>	<b>31.5%</b>	<b>26.8%</b>	<b>29.9%</b>	<b>29.5%</b>	<b>25.8%</b>

### 2) 掲載論文数

	論文数
掲載論文数	64編 <sup>※</sup> (医師部会：58編，看護部会：4編， 救急隊員学術研究会：2編)
査読継続	2編
投稿取り下げ	2編
論文受理率	93.9%

※昨年投稿された2編，昨年以前に発表された3編，本会で発表のない5編を含む

### 3) 広告数

7社（東芝メディカルシステムズ，日本血液製剤機構，大塚製薬工場，旭化成ファーマ，  
旭化成ゾールメディカル，帝人ファーマ，アステラス製薬）

#### 4) 編集スケジュール

2月3, 4日	日本救急医学会関東地方会学術集会, 論文投稿受付開始
3月下旬	論文投稿依頼 (文書送付, 4月17日締切)
4月14日	編集委員会開催
4月下旬	論文投稿再依頼
5月下旬	編集委員長が担当者分担決定
6月上旬～	<b>1回目査読 (1カ月程度)</b>
7月～8月	評価Ⅱ (一部修正), Ⅲ (全面修正) の論文については順次執筆者に戻し, リライトを依頼 (3週間) 評価Ⅰ (採用) の論文については編集委員長の決済 →採用分は初校作成・著者校正依頼 (事務局)
8月～10月	<b>2回目査読 (1カ月程度)</b>
10月～11月	評価Ⅱ, Ⅲの論文についてはリライトを依頼 (3週間) 評価Ⅰの論文については編集委員長の決済 →採用分は初校作成・著者校正依頼 (事務局)
11月～	<b>3回目査読 (査読期間は適宜相談)</b>
12月上旬	責了
12月末	納品・発送

#### 5) 学会誌 J-STAGE 掲載の進捗について

科学技術振興機構 (JST) による審査の結果, 「採択」となった。今後説明会への出席等, 掲載の具体的な作業を進める予定である。

以上



## 日本救急医学会関東地方会ホームページ報告

2018年1月27日

ホームページ担当常任幹事 田中 裕

### 1. ホームページ更新情報について

委託先：京葉コンピューターサービス（～7月）

#### 【2017年4月】

- ・学術集会を更新しました。幹事名簿を更新しました。(17.04.11)

#### 【2017年5月】

- ・HPをUminに移転しました。(17.05.10)
- ・関連学会案内を更新しました。(17.05.22)

#### 【2017年6月】

- ・関連学会案内を更新しました。(17.06.19)

#### 【2017年8月】

- ・関連学会案内を更新しました。(17.08.07)

#### 【2017年9月】

- ・関連学会案内を更新しました。(17.09.12)

#### 【2017年10月】

- ・関連学会案内を更新しました。(17.10.02)
- ・UMINの全サービス一時停止について掲示しました。(17.10.03)
- ・関連学会案内を更新しました。(17.10.06)

#### 【2017年11月】

- ・平成30年新幹事公募のお知らせを掲示しました。(17.11.10)
- ・関連学会案内を更新しました。(17.11.20)
- ・SOS-KANTO 2017 study についてのお知らせを掲載しました。(17.11.24)

#### 【2017年12月】

- ・関連学会案内を更新しました。(17.12.26)

### 2. ホームページの移転について

HP 管理運営費用の削減のため、2017年5月に京葉コンピューターサービス (<http://www.jaam-kanto.jp/>) から、UMIN の一般公開用ホームページサービス(無償) (<http://jaam-kanto.umin.ne.jp/>)へ移転を行った。5月から7月までを平行運用期間とし、7月末に京葉コンピューターサービスの利用を終了した。

以上

第 69 回日本救急医学会関東地方会学術集会  
第 56 回救急隊員学術研究会

会期：2019年2月2日(土) ※同日開催

会場：つくば国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-3

会長：河野 元嗣（筑波メディカルセンター病院 副院長・救命救急センター長）

運営：株式会社ドウ・コンベンション

テーマ：「こたえは現場にある!!」



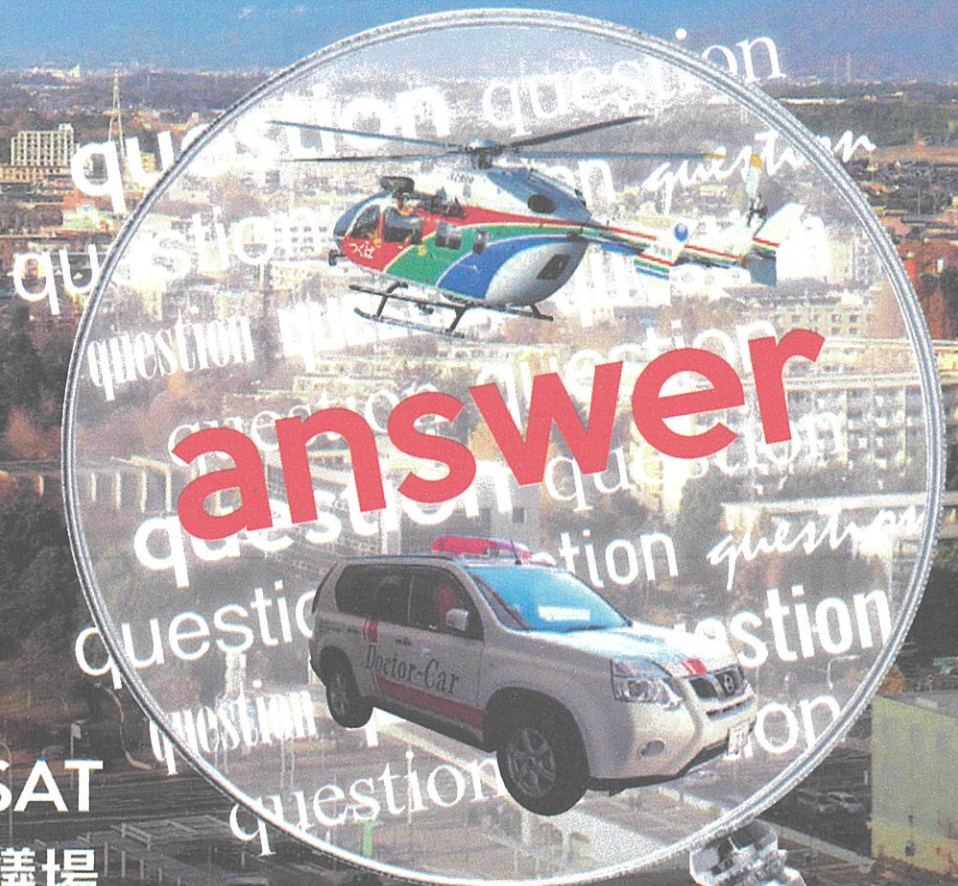
第69回

# 日本救急医学会関東地方会学術集会

第56回

## 救急隊員学術研究会

こたえは現場にある!!



2019. 2. 2 SAT

会場 / つくば国際会議場

会長 / 河野 元嗣 筑波メディカルセンター病院 副院長  
救命救急センターセンター長

事務局

筑波メディカルセンター病院

〒305-8558 茨城県つくば市天久保1丁目3番地の1  
TEL: 029-851-3511 代表 FAX: 029-858-2773  
E-mail: jaam69\_kantou-office@umin.ac.jp

運営事務局

株式会社ドゥ・コンベンション

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23,5F  
TEL: 03-5289-7717 FAX: 03-5289-8117  
Email: jaam69\_kantou-office@umin.ac.jp

[http://jaam69\\_kantou.umin.ne.jp/](http://jaam69_kantou.umin.ne.jp/)

日本救急医学会関東地方会 2017年度決算報告書  
(2017年1月1日～2017年12月31日)

【収入の部】				
科目	予算	決算	予算比	備考
<b>会費収入</b>	<b>6,500,000</b>	<b>5,934,000</b>	<b>△ 566,000</b>	幹事：10,000円・一般：5,000円
当年度・過年度収入		5,830,000		
前受会費収入		104,000		
<b>雑収入</b>	<b>435,200</b>	<b>445,004</b>	<b>9,804</b>	
広告掲載料	200,000	200,000	0	38巻2号
銀行預金利息	200	4	△ 196	
地方会補助金	200,000	200,000	0	日本救急医学会
その他	35,000	45,000	10,000	別刷代
<b>収入合計</b>	<b>6,935,200</b>	<b>6,379,004</b>	<b>△ 556,196</b>	

【支出の部】				
科目	予算	決算	予算比	備考
<b>事業費</b>	<b>7,505,302</b>	<b>6,935,428</b>	<b>569,874</b>	
刊行費(発送費を含む)	4,186,274	4,186,274	0	37巻2号製作費(2016年12月発刊)、発送費
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	0	東京大学
会議費	300,000	97,248	202,752	
常任幹事会		60,642		年2回開催
編集委員会		2,370		年1回開催
会計監査		1,080		
看護部会運営委員会		23,436		年1回開催
その他		9,720		学術総会時開催委員会諸経費
交通費	250,000	110,766	139,234	
常任幹事会		43,000		
編集委員会		25,000		
事務局		14,766		学術総会、諸会議立ち会い
会計監査		4,000		
看護部会運営委員会		24,000		
印刷費	150,000	120,475	29,525	事務局コピー代
ホームページ運営費	269,028	161,028	108,000	21,000円×12ヵ月+ドメイン管理費(～7月)
SOS-KANTO	150,000	59,637	90,363	
会議費		1,637		
交通費		58,000		
<b>事務費</b>	<b>1,461,600</b>	<b>1,549,871</b>	<b>△ 88,271</b>	
<b>通信費</b>	<b>300,000</b>	<b>304,341</b>	<b>△ 4,341</b>	
切手代		44,221		
宅配便代		21,276		
その他発送費	238,844	238,844		別納郵便
業務委託費	1,101,600	1,101,600	0	委託先：(株)へるす出版事業部
消耗品費	50,000	133,206	△ 83,206	事務用品費、封筒作成費
振込手数料	10,000	10,724	△ 724	
<b>予備費</b>	<b>50,000</b>	<b>16,200</b>	<b>33,800</b>	お花代
<b>支出合計</b>	<b>9,016,902</b>	<b>8,501,499</b>	<b>515,403</b>	
<b>収支</b>	<b>-2,081,702</b>	<b>-2,122,495</b>		
前年度(2016年)繰越金	9,122,878	9,122,878		
次年度(2018年)繰越金	7,041,176	7,000,383		

銀行口座残高	¥371,705	
郵便口座残高	¥6,678,678	
小口現金残高	¥0	
<b>預り金</b>	<b>¥-50,000</b>	※広告費重複入金、返金予定分
<b>合計</b>	<b>¥7,000,383</b>	

## 監査報告書

日本救急医学会関東地方会の2017年度(2017年1月1日～2017年12月31日)における収支計算書、およびそれに付随する諸帳簿について必要な監査手続きを実施した結果、2017年度の経営状況を適正に表現しており、かつ会計手続きに不正のないことを認める。

以上

2018年 1月 9日

日本救急医学会関東地方会

監事 坂本哲也 (印)

監事 山口芳弘 (印)

## 日本救急医学会関東地方会会則

### 【現会則】（第3章 会員 第7条を抜粋）

（会費）

第7条 会員は、別に定める年会費を納入しなければならない。

2 名誉会員は会費を免除する。

3 既納の会費は、いかなる理由があっても返還しない。

### 【改正案】

（会費）

第7条 会員は、別に定める年会費を納入しなければならない。

2 救急科専門研修専攻医はプログラム登録初年度に限り会費を免除する。

3 名誉会員は会費を免除する。

4 既納の会費は、いかなる理由があっても返還しない。

---

### ※【会則の改正に関する規則抜粋】

第12章 会則の変更

第32条 本会の会則の変更は、常任幹事会の議決を経て、幹事会における出席幹事の3分の2以上の賛成を要する。

日本救急医学会関東地方会 2018年度予算(案)  
(2018年1月1日～2018年12月31日)

【収入の部】

科目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算
会費収入	6,500,000	5,934,000	6,300,000
雑収入			
広告掲載料	200,000	200,000	0
銀行預金利息	200	4	200
補助金	200,000	200,000	200,000
その他	35,000	45,000	70,000
収入合計	6,935,200	6,379,004	6,570,200

【支出の部】

科目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算
<b>事業費</b>			
刊行費(発送費を含む)	4,186,274	4,186,274	3,800,000
地方会補助費	2,200,000	2,200,000	2,200,000
会議費	300,000	97,248	100,000
交通費	250,000	110,766	150,000
印刷費	150,000	120,475	150,000
ホームページ運営費	269,028	161,028	0
SOS-KANTO	150,000	59,637	220,000
<b>事務費</b>			
通信費	300,000	304,341	300,000
業務委託費	1,101,600	1,101,600	1,101,600
消耗品費	50,000	133,206	100,000
振込手数料	10,000	10,724	10,000
<b>予備費</b>	50,000	16,200	50,000
支出合計	9,016,902	8,501,499	8,181,600
収支	-2,081,702	-2,122,495	-1,611,400
前年度繰越金	9,122,878	9,122,878	7,000,383
次年度繰越金	7,041,176	7,000,383	5,388,983

## 名誉会員の推戴について

- ・平成 29 年 8 月 22 日常任幹事会承認
- ・日本救急医学会関東地方会会則施行細則第 22 条 2 (3) に従い、承認を得られた候補者

(敬称略 五十音順)

氏名	役員歴	所属先
堤 晴彦	58 回会長	埼玉医科大学総合医療センター

### 日本救急医学会関東地方会会則 (抜粋)

#### 第 3 章 会員

(構成)

第 5 条 本会は、次の会員によって構成する。

- (2) 名誉会員：本会の発展に特に功労のあった者で、別に定める細則により推薦され、承認された者

### 日本救急医学会関東地方会会則施行細則 (抜粋)

#### 第 5 章 名誉会員

第 21 条 名誉会員は、常任幹事が推薦し、幹事会の承認を要する。

第 22 条 名誉会員は、幹事会に出席し、意見を述べることができるが、議決に加わることは出来ない。

2 名誉会員の推戴要件は、以下の通りとする。

- (1) 役員経験者であること
- (2) 65 歳以上であること
- (3) 本人に名誉会員となる意思があること



## 学会名の英表記について

### 1. 経緯

学会誌のJ-STAGE 登載手続きにあたって、科学技術振興機構（JST）より学会名の英表記の登録を求められている。手続き上 39 巻 2 号搭載時までには要決定。

### 2. 参考

#### ① 当会学会誌名

「KANTO Journal of Japanese Association for Acute Medicine」

（略称：K. J. J. A. A）

※[参考]日本救急医学会誌：Journal of Japanese Association for Acute Medicine

#### ② 団体名

・日本救急医学会中部地方会：

「Chubu Chapter of Japanese Association for Acute Medicine」

（Wikipedhia より）

・日本救急医学会：「Japanese Association for Acute Medicine」

（日本救急医学会定款より）